

# 労働法コラム 第28回

## ～退職金について～



黒崎合同法律事務所  
平山 博久 弁護士

1 退職金についてはこれを支給する会社が多数存在すると思えます。

しかし、実は、退職金を支給するか否か、いかなる基準で支給するかについて直接規制する法令はなく、これを払うか否かは本来的に使用者の裁量に委ねられています。

2 しかし、①就業規則、労働協約、労働契約等で、②これを支給すること、更に、③その基準が定められている場合には、使用者に支払い義務が生じます。

また、①の就業規則等が無い場合であっても、②、過去に退職した多数の労働者が受領した退職金の額に照らし

て、明確な退職金支給基準が存在し、当該事件の労働者について具体的な退職金額を特定でき、①、②の基準通りに支払うことが、使用者の法的義務であるという意識を両当事者が有している場合には、労使慣行として退職金請求権が認められる場合があります。

3 とところで、就業規則等において、一定の場合には退職金を支給しない(減額する)と定める会社も多いと思われる。

例えば、懲戒解雇の場合は退職金を支給しない(減額する)、と定めている場合です。この

点、その不支給(減額)規程自体は有効と考えられています。

しかし、不支給(減額)規程が有効であるからといって、必ず、当該事案において不支給(減額)となるわけではありません。

すなわち、過去の裁判例においては、退職金不支給(減額)事由に該当する事実があったとしても、直ちに不支給・減額が認められるわけではなく、その不支給(減額)規程の適用範囲を限定して解釈しており、一般的には、当該不支給(減額)事由が、「それまでの勤続の功

を抹消又は減殺するほどの著しい背信行為」であると認められるか、という点を考慮した上で、実際に不支給(減額)にすることが許されるか否かが判断されています。

ですから、懲戒解雇の場合だから絶対に退職金の支給を受けられないわけではありません。

当事務所では退職金をはじめ多数の労働事件を取扱っておりますので、お悩みの方は一度お気軽に当事務所にご相談下さい。

### 【投稿】 第3回北九州マラソンに参加して「足の痛みをこらえて完走」

今年で3回目の北九州マラソンが開催されました。

北橋市長や大会ゲストの方が大会挨拶で晴天だと言われていた通り、これまでで一番天気良かったです。風は冷たかったけれど、プラスバンドや沿道から応援を貰いながら市庁舎前から元気にスタートしました。

私は、応援してくれている人やランニング仲間と声かけ合ったりしながら、お祭りのような雰囲気を楽しみながら走って行きました。八幡に向かっていくうちに暖かくなり走りやすくなったのですが、これまでの大会とは違って、前月に故障した足に不安がありました。その不安は小倉に戻り門司に向かう25キロ地点付近での中し足底につりそうな感じの痛みが出て、一時は棄権しようかと思いました。調子よく走っていたこれまでの大会とは違い、自分のコンディションが悪いとこんな気持ちになるのかと思いました。歩いていると痛みがおさまってきて、でももうタイムを狙うことは無理なので、せっかく用意してくれている給食を楽しみながら完走目的で走ることにしました。走ったり歩いたり進んで行くと、給水所の少し手前で応援しての方が「頑張れー。まだ焼肉あるよ」と言ったので、やる気が出てきてまた走りました。

途中ゲストの有森裕子さんとハイタッチして、結局5時間近くかかってゴールしました。痛い思いもしたけれど、タイムに拘らず小倉牛やチョコクロワッサン、羊羹など美味しいものを食べられて満足です。

五千人を超えるボランティアの方や応援の皆様、運営に関わったすべての方々に感謝です。

JMIU 安川合同支部 井上亜紀子



頑張って完走した井上さん



3・20福岡県民大集会に2500人が集まりました  
小倉タイムスより写真提供

# 北九州地区労連ニュース

2016年 3月号 No. 113

発行 北九州地区労働組合総連合  
連絡先 北九州市小倉北区黄金1-4-9-207号  
メール k\_oren@ybb.ne.jp ☎ 093-921-0747  
ホームページ http://www.geocities.jp/k\_oren/

解雇・残業代未払い・パワハラ  
あきらめないで電話して下さい  
秘密厳守 労働相談ホットライン  
相談無料

フリーダイヤル  
**0120-378-060**

093-921-0747 k\_oren@ybb.ne.jp



行政に対する要請を前にあいさつをする  
北九州春闘共闘連絡会中山議長

北九州における2016年春闘は、戦争法廃止！、大幅賃上げの実現・底上げ、労働法制改悪反対、働くルールの確立などの要求前進と併せ、市民要求（消費税増税反対・原発再稼働反対・TPP交渉からの撤退など）の実現をめざしてたたかっています。

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連は、2月25日早朝から、「2016年春闘前進をめざす地域総行動」を実施しました。とても寒い朝でしたが、市内の4つの駅で宣伝を行いました。早朝宣伝の後、北九州生涯学習総合センターに設けられた、要請会場に集合し意思統一集会を行いました。参加者から、2016年春闘の取り組み、2000万署名、戦争法廃止の取り組みなどについての発言がありました。

## 2016年春闘要求前進2/25地域総行動を展開！ 早朝宣伝でチラシ400枚配布、北九州市、商工会議所へ要請！

暮らしを守る共同で、賃上げと雇用の安定、地域活性化、北九州でたたかわれているすべての争議の早期解決を！のスローガンを掲げ、2016年春闘要求前進をめざす地域総行動を展開しました。

北九州市には、全労連統一要請書を道下春闘共闘事務局長が読み上げ、公契約条例については、福建労北九州支部の新屋敷書記長が要請書を読み上げて提出しました。

その後懇談に移り、福岡自治労連、北九州市職労、福建労、北九州地域ユニオン、北九州争議団共闘、全教北九州、学嘱労、JM-U、年金者組合などからそれぞれが抱える課題についての発言がありました。とりわけ、労働者の賃金底上げ、雇用の安定、公契約条例の制定については、とくに強く申し入れました。

雇用政策課担当課長は、要請の内容については真摯に受け止め、関係部局に伝え、後日文書で回答します、と述べました。



北九州商工会議所に対する要請&懇談をする要請団

11時15分からは北九州商工会議所に対し、11人で全労連要請書を提出し、なごやかに懇談・意見交換を行いました。

今後、要請書に対する回答が文書で行うよう求め、今回要請した内容についての回答は文書で行うことで一致しました。

今回の行動には、延べ85人の役員・組合員が参加しました。

### 雨あがの

たこ焼きを買って帰った。空腹とソースの匂いに誘われ、急いで口の中へ。ところが、中はすくなく熱い。口の中をやけどしそうであるがなかなか呑み込めずに、やっとの思いで飲み込んだ。その時、「喉元過ぎれば熱さを忘れる」という言葉が頭をかすめた。

国会では早々と来年度予算案が可決されてしまったが、「喉元過ぎれば・・・」と言えば、甘利経済再生大臣の口利き問題はとうなったのか。「歯舞」が読めない島尻沖繩・北方領土担当大臣の問題はどうなったのか。加えて、下着泥棒をしたといわれる高木復興大臣の問題。政府の気に入らない放送をすれば電波を止めるぞ、と言わんばかりの高市総務大臣の脅しともいえる発言問題はとうなったのか。そして、憲法無視の「戦争法」である。大問題ばかりであるが、なぜ、淡々と予算案が通ってしまうのか。

喉元過ぎても、熱さを忘れてはいけない問題ばかりではないか。少なくとも、私たちは、7月に行われる参議院選挙までは忘れず、自・公与党勢力を少数に追い込んで溜飲を下げようではありませんか。頑張れ、「野党は共闘！」

(佐)

# 戦争も貧困もイヤ！ 戦争準備は暮らしも破壊 なくせ貧困と格差！ 大幅賃上げで景気回復！ やりまろう！「戦争法廃止2000万人署名」

北九州地区労連は、3月17日(木)18時30分から戸畑区生涯学習センター3階集会室で、「春闘要求前進、2000万人署名推進学習決起集会」を開きました。この集会に、地区労連加盟組合から52人の役員・組合員が参加しました。集会は、永野副議長の前田憲徳弁護士の講演があり、戦争法がいかに危険なものであるか解明されました。その後道下事務局長の行動提起を受け、福建労、全教北九州、市職労、学嘱労が、2016年春闘要求、戦争法反対の取り組み・たたかいについて報告、最後に中山議長による団結頑張りついで終わりました。

すべての加盟組織で、全労連目標の達成を意思統一

「春闘要求前進、2000万人署名推進学習決起集会」は、2016春闘賃金交渉の早期決着、戦争法廃止の2000万人署名の取り組みに弾みをつくることを目標に、各加盟組織の経験・取り組みなどの交流をおこないました。



道下事務局長が、地区労連目標30000筆達成をめざし全力を挙げようと提案



戦争法の廃止をめぐる情勢などについてわかりやすく講演する前田弁護士

北九州憲法共同センターの前田弁護士が、「3月29日施行の安保法制の危険性、2000万人署名は情勢を変える重要なツールであり、市民に受け入れられる宣伝の工夫が必要。」とこれまでの取り組みや情勢についてわかりやすく学習講演しました。道下地区労連事務局長から、地区労連目標30000筆をやり遂げるための行動提起(①組合員に署名用紙を届ける②署名

集約報告体制の確立③共同センターの署名宣伝行動の参加)が具体的に提起されました。

直近の国政選挙で自民党が得票した比例票は1800万票です。それを上回る2000万人の署名をやりあげることが、戦争法廃止の願いを可視化するとともに、廃止の力を今夏の参議院選挙につなげる上でどうして必要な目標です。そして、戦争法を廃止してほしいという署名が2000万筆集まれば、そ



福建労の署名の取り組みなどを報告する新屋敷書記長



2000万人署名をやりあげる決意を込め団結頑張りついで！

北九州地区労連は、戦争か平和か、憲法改悪をゆるすのか憲法を守り生かす社会を実現するのか、様々な課題で新たな共同をつくり発展していることに確信を持ち、戦争法廃止運動、2000万人署名を大きく広げていきます。北九州地区労連は、戦争法廃止を求めるとともに、安倍政権による、あらゆる明文改憲の企てを許さない声を上げていくことを呼びかけます。

# さよなら原発！3・13北九州集会に2500人参加

チェルノブイリから30年、フクシマから5年となった3月13日(日)、小倉北区の勝山公園図書館横広場で「さよなら原発！3・13北九州集会」が開催され、青年、女性、労働組合員など、幅広い階層から2500人が集まりました。うたごえやバンド演奏などの後、棚次奎介代表世話人は主催者あいさつで、「一致団結して原発をなくす行動をさらに強めよう」と述べ、そのあと各界・各層から、原発再稼働反対の意見、アピールが相次いで出され、金曜行動のパフォーマンス等で盛り上がり、「原発再稼働反対、直ちに廃炉」などを訴える集会宣言を採択しました。

集会終了後のデモ行進は、地区労連が担当し、小倉駅まで「原発廃炉」「電気は足りてる」「はいろ、はいろ」などと訴えデモ行進をしました。



勇壮な太鼓の演武



戦争法廃止の訴えに聞き入る集会参加者



小倉駅までのデモ行進で戦争法の廃止を訴えました

## 第87回北九州統一メーデーの 第1回実行委員会が開かれました

3月14日(月)、生涯学習総合センターで、第87回北九州統一メーデーの成功に向けて、第1回目の実行委員会が開催され、17団体から19名が参加しました。実行委員会では、中山議長のあいさつの後、道下事務局長がまず、メーデー会場について「従来の勝山公園天守閣前広場が環境大臣サミットの影響で使用できない為、図書館横広場で開催すること」を報告、運営要項案、開催日、役員体制案、予算案が提案され、満場一致で確認されました。

**開催日** 5月1日(日) 10時～

**開催場所** 勝山公園図書館横広場

道下事務局長は、「今年のメーデーは日曜日開催です。OB、家族にも参加を呼び掛けて1500人の参加を実現しましょう」と提案し、これを目標にすることも確認されました。

今後の会議日程

3月29日(火) 18時30分 第2回実行委員会

4月12日(火) 18時30分 第3回実行委員会

4月26日(火) 18時30分 第4回実行委員会

会場は、いずれも小倉北区生涯学習総合センターです。



第1回実行委員会に19人の実行委員が参加

## 誰の子どもも殺させない！ 戦争法は直ちに廃止せよ！

平和をあきらめない北九州ネットは、2015年9月19日の安保法制強行採決後、毎月19日に決起する「安保法制の廃止を求める北九州集会」を、3月19日(土)14時からリバーウォーク噴水横公園、約450名が参加しました。

集会に政党では、日本共産党の田村衆議院議員、社民党の福島市議が参加し熱い連帯のあいさつがありました。また、民進党の緒方衆議院議員はメッセージが届き紹介されました。集会終了後、小倉駅前まで整然とデモが行われました。



戦争法の廃止を求め450人が参加しました

